

御前崎 NEXTA FIELD

静岡県御前崎市

ランドスケープデザイン＝株式会社稲治造園工務所

写真・資料提供＝株式会社稲治造園工務所、静岡カントリー浜岡コース & ホテル*



Omaezaki-shi, Shizuoka

Landscape by Inaji Landscape & Construction Co., Ltd.

Photos and Material provided by Inaji Landscape & Construction Co., Ltd. ,
Shizuoka country hamaoka course & hotel*





太平洋の温暖な気候につつまれた、なだらかな丘陵に広がる静岡カントリー浜岡コース&ホテル。
この緑豊かな自然の中に、新たなサッカーフィールドが誕生した。

「芝生」と言うと、私の子供の頃は未だ児童公園などと言う小洒落た公園などは無く、野山を泥だらけになりながら駆け回っては、おやつ代わりに柿やイチジクを盗み取って、悪戯鬼共がワイワイ言いながら草むらで食べていた事を思い出す。その草むらの広がった場所、それが「芝生に居る」【芝居】の始まりだとは夢にも思わず、又、大人達は酒宴を開いていた人も居たかも知れないが・・。

この様に芝生は我々と共存して現在に至っている。但し、父に連れて行ってもらった何々庭園等には必ずと言って良いほど「芝生の中に立ち入らないで下さい。」の立て札が厳しくこちらを見ていた事を思い出す。その頃は子供心に「広い芝生の上で思いっきり走り回りたい。」、「家族でお弁当を広げて食べたい。」との思いを抱いたもので、それは今も変わっていない。

さて、現在は「芝生」というと、どうだろう…！

スポーツターフと称し、芝生は我々にゴルフをはじめ、サッカー・ラグビー・テニスなど老若男女を問わず共存し、健康的な場を提供してくれている。

芝生は目に優しいだけではなく、埃を押さえ、表面温度を下げ、膝に優しく、擦り傷も防ぐ。この点を活かし昨今では小学校をはじめ、学校のグラウンドに於ける芝生化が多方面で取り沙汰されている。

『御前崎 NEXTA FIELD』は風光明媚な静岡県御前崎に位置し、温暖な気候風土に恵まれた環境の中で育まれ育った芝生フィールドを造り上げている。本グラウンドはスポーツターフに使用される芝生の中で昨今最も優れ、Rio de Janeiroオリンピックのメインスタジアムをはじめ、世界各国のスタンドに使用されている芝生 Celebration bermudagrass（セレブレーション バミューダグラス）を使用しピッチが作られている。

この芝生は、耐陰性・耐寒性・踏圧性・耐暑性・耐密性に優れ、何より繁殖率が旺盛なため、スポーツ等で芝生が傷んだ際にも回復が早く、常にお客様の要望に応えられる芝生の提供が可能となっている。

また、本グラウンドは通常のピッチ面積の約1.5倍の広さを有し、普段行われている練習をはじめ、あらゆるカリキュラムに応じた練習を同時に行う事が可能となっている。

文＝林 義信 (株)稻治造園工務所理事)

“Turf” reminds me of my childhood memory of running around in plain green fields and laughter of my buddies whom I shared pears and figs from neighbor’s garden since there were no proper playgrounds for children in those days. These fields were our playing ground and the Japanese word “SHIBAI (Play)” was created with the meaning of “being on turf”.

Although we have been coexisting with turf till this day, my childhood memories recall almost all landscape gardens with turf had a “Keep Out from Turf” sign staring at me. I used to think it would give me a great feeling if I could run around and still hold the same feeling.

So what about now! These turfs are called “Sport Turf” nowadays and it provides the opportunity to enjoy the games of Golf, Soccer, Rugby or Tennis for all ages and provide healthy playing grounds for us. The advantages of these sport turfs are not only being easy to the eyes, but also prevent dust from

rising and lower surface temperature. Because of these reasons, many elementary schools and other schools have been considering turf installation on their playing grounds.

“OMAEZAKI NEXTA FIELD”, a turf ground created in the area known for its natural features and mild climate in Omaezaki City, Shizuoka. The ground has selected the most superior turf among sport turf called “Celebration bermudagrass”, also used at many stadiums all over the world including the main stadium for 2016 Rio de Janeiro Olympic games.

Celebration bermudagrass has excellent resistance in shade, treading, heat and diseases as well as grow rapidly and quick recovery which satisfy users and provide the best turf condition. The area of "OMAEZAKI NEXTA FIELD" is one and a half times bigger than usual grounds thus routine practice and other training can be performed at the same time.

Text by Yoshinobu Hayashi
(Director, Inaji Landscape & Construction)



上／サッカーチーム合宿を受け入れる上では、予備のグラウンドや温水プール、トレーニングジム(ウェイト)などのスポーツ補助施設が不可欠。加えて本格的な医療体制という点に依って、総合病院の近接も重要である。マップに示すように浜岡コースとホテルから数キロ以内にこれら公共施設が既に備わっている。下／宿泊施設がある浜岡コースとホテルのクラブハウスからサッカーフィールドまでは、直線距離で約600m。車でも、僅か数分の土地である。

施工プロセス



1. 下地造成



2. 盛土敷き均し



3. 植物の生育状況



4. 散水養生

セレブレーションバミューダグラス

Celebration Bermudagrass (セレブレーション バミューダグラス) は、豪州で盛んな球技ローン・ボウリング専用芝として、1990年半ばにRodney Riley氏が耐踏圧性、回復性向上を目的に4世代に渡り、品種特性の固定化・比較試験を確立し販売拡大した。

その後、米国Sod Solutions社が米国・海外独占生産販売権を取得し、米国研究機関において、既存品種のティフトン419 (Tifway) と比べ耐陰性、耐寒性、耐踏圧性、回復力等が優れるという結果を得た。

1997年には米国特許を取得し、世界170ヶ所以上のスポーツ関連施設で導入された。日本では半世紀以上に渡りティフトン419が利用されていたが、近年サッカー・ラグビー場において耐陰性(屋根付スタジアム)、耐踏圧性、回復力等の需要が高まったため、弊社は2013年にSod Solutions社と日本国内独占生産・販売権契約を締結。2016年に合弁会社と「日陰における葉色の持続力」といった優位性を日本芝草学会で発表後、生産を開始し、品質を保持するため、Sod Solutions社による圃場検査・芝品種保証を受け、全国に供給を行う体制を確立した。

文＝柳沢博見 (株稲治造園工務所)



施工前



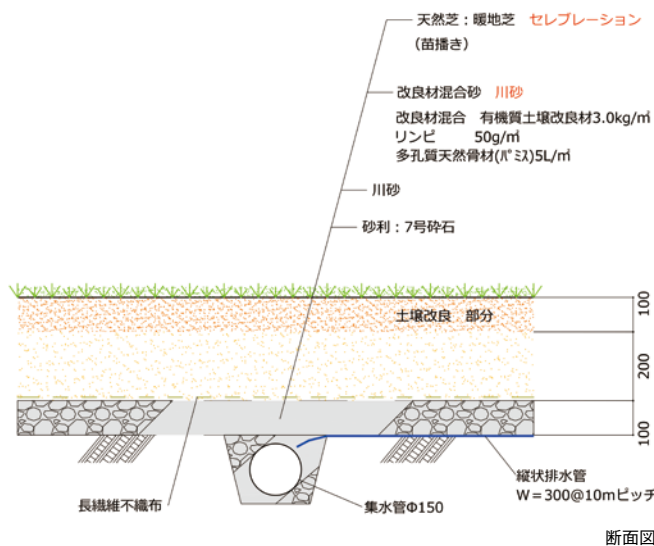
10日後 (2016/6/29 雨～曇り27℃ / 20℃
湿度90% 日照時間13h40)



20日後 (2016/7/9 雨～曇り24℃ / 22℃
湿度92% 日照時間14h19)



31日後 (2016/7/20 晴れ29℃ / 22℃
湿度78%)



御前崎 NEXTA FIELD 竣工にあたって

この場所は、ここ数十年、ゴルフ場のナセリ（圃場）として使用されていました。いわゆる遊休地だったのですが、林帯に囲まれた、練習に集中できる最適な環境であり、既存の宿泊施設との併用で合宿が誘致できるとのお話をサッカー協会関連の方から、たまにいただいたことがきっかけで、サッカーの行える練習場として再整備することになりました。

「御前崎ネクスタフィールド」というネーミングですが、トップアスリート達が切磋琢磨し、自らを鍛え上げる。そしてそれを目にする地域の子供達が、自分の未来を創造する。このフィールドがそれぞれの「次のステージ」につながるようにと命名をさせていただきました。

遠藤孝一
(静岡カントリー浜岡コース&ホテル 取締役支配人)

私も稲治造園工務所は創業以来半世紀の歴史を有し、芝生を我が子の様に育てまいりました。

過去、数多くのゴルフ場やサッカー場を手掛けた経験を活かし、リオデジャネイロオリンピックに使用された強靱な芝生を日本で最初に用い、グラウンドを造らせて頂いています。

ここから世界へ羽ばたかれるプレイヤーが数多く生まれる事をお祈り致しております。又、サッカーグラウンド『御前崎 NEXTA FIELD』の施工に当たり当社にご下命を頂きました、静岡カントリーグループ様をはじめ、ご支援下さいました方々に心より御礼を申し上げます。

稲治和彦 (株稲治造園工務所代表取締役)



緊急時の防災拠点となる公園広場を提供：災害緊急時には、本グラウンドの広大な広場によって、仮設用地などに必要な規模平坦地を新たに提供。地元で準備が求められるヘリポートなどの支援物資の配給や緊急搬送の拠点、用水（井戸水）供給を地域で充足することが可能*



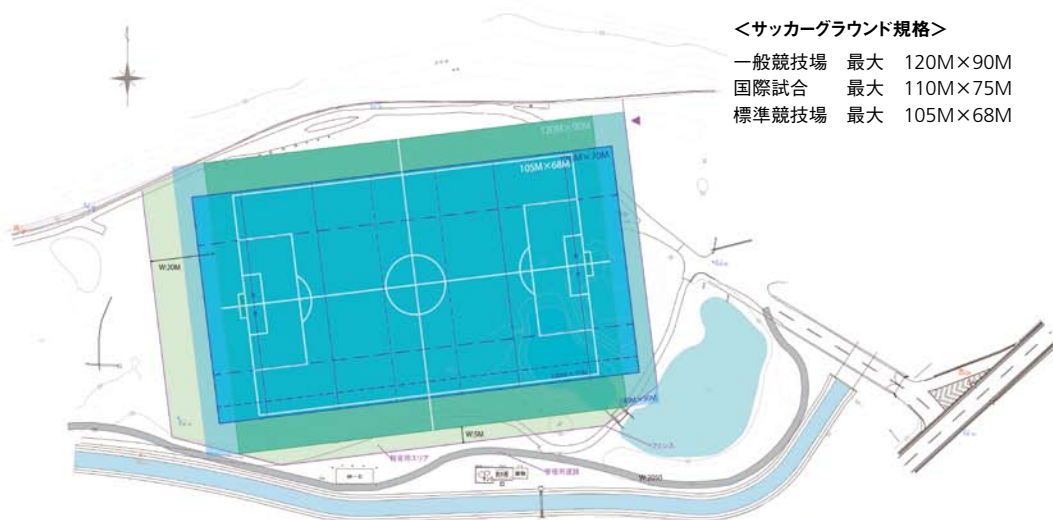
喧騒な市街地から距離を置くゴルフコース内に位置し、常緑樹の自然壁に囲まれたサッカーフィールドは、心身のトレーニングには絶好の環境*

<サッカーグラウンド規格>

一般競技場	最大	120M×90M
国際試合	最大	110M×75M
標準競技場	最大	105M×68M

御前崎 NEXTA FIELD

所在地	静岡県御前崎市 地内
用途	自然運動公園（サッカー練習場）
事業主	静岡カントリー 浜岡コース & ホテル
デザイン	（株）稲治造園工務所（林 義信）
外構設計	（株）近畿日本コンサルタント（上谷久仁緒）
実施設計	（株）稲治造園工務所（森田康嗣）
施工	グラウンド工事／（株）稲治造園工務所（森田康嗣）、 外構工事／（株）西島土木（織部正直）
グラウンドキーパー	（株）稲治造園工務所（田中篤史）
竣工	2016年12月
規模	敷地面積 / 17,500 m ²
仕様	セレブレーション パミュダグラス



平面図